

合志市は 誕生10周年を迎えます

10年間の主な出来事

- 2006.02 ● **合志市誕生**
- 03 ● 合志菊陽交番開所
- 2007.01 ● 合志小学校 新校舎完成
- 07 ● 元気の森公園開園
- 2010.02 ● バンクーバー冬季オリンピックに本市出身の藤本貴大選手が出場
- 03 ● 合志ブランド認証品 第1弾16品目が決定
- 04 ● 自治基本条例の制定
- 10 ● コミュニティバス運行開始
- 12 ● **市民55,555人突破**
- 2011.05 ● 合志市音頭完成（合併5周年記念）
- 市議会議員定数削減（24人→21人）
- 2012.02 ● 菊池恵楓園将来構想にもとづき園内に「かえでの森こども園」開所
- 07 ● 九州北部豪雨災害
- 2013.02 ● 須屋支所が須屋市民センター内に移転
- 10 ● 天皇皇后両陛下 農業研究センターと菊池恵楓園を訪問
- **こうし市秋祭りで竹とんぼギネス認定（312人）**
- 2014.03 ● 郷土の歴史マンガ『カタルパの樹～合志義塾ものがたり～』完成
- 04 ● **レターバス利用者20万人突破**
- 2015.04 ● 『カタルパの樹』熊日出版文化賞受賞
- こうし未来研究所設立
- 05 ● 市議会議員定数削減（21人→19人）
- 06 ● 住みよさランキング2015（九州・沖縄）で2年連続1位
- 09 ● 空手家谷山佳菜子さんが市ふるさと大使第1号に決定
- 11 ● タレント加納麻衣さんがこうし元気隊長に就任

It continues in the Future
— 未来に続く —

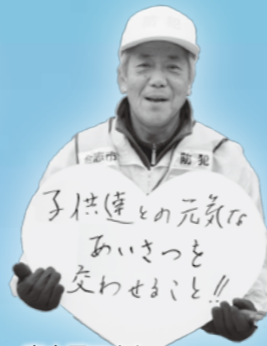
あなたの心に残っていること
うれしかったことは何ですか

まちではさまざまな出来事がありました。皆さんにはこの10年、どんなことがありましたか。

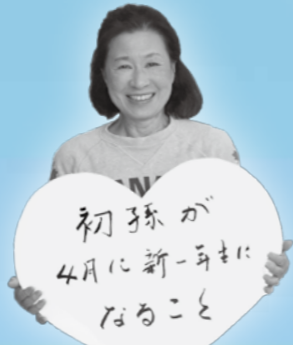
そして、何が一番心に残っているのでしょうか。



藤野千佳さん・颯仁ちゃん
(杉並台)



青木周二さん
(上須屋)



毛利トシエさん
(辻)



原田利枝さん・幹子ちゃん
(黒石原)



ヴィヴァルディ子ども劇団の皆さん

合志市は、合志町と西合志町が合併して平成18年2月27日に誕生し、今月で満10歳を迎えます。

皆さんにとってはどのような10年でしたか。ここでは、合併後の10年を振り返りながら、未来にどのようなまちを残していきたいか、そのために何ができるのかを考えます。

平成の大合併

平成11年以降、国は全国に3、234ある市町村の合併を推進し、現在、その数は1,718にまで減りました。これが「平成の大合併」といわれるものです。

県内でも94あった市町村が、現在では半分以下の45市町村になりました。合併の波は菊池郡市8市町村（合志町・西合志町・菊池市・七城町・泗水町・旭志村・大津町・菊陽町）にも訪れ、菊池市・七城町・泗水町・旭志村の4市町村が菊池市に、合志町・西合志町が合志市となりました。

人の笑顔が増えるまち

合併当時52、516人だった本市の人口は、10年たつて59、702人になり（平成27年12月末現在）、近いうちに6万人に達する勢いです。

昨年5月に民間研究機関「日本創成会議」（座長・増田寛也元総務相）が発表した「消滅可能都市」では、全国の49・8%、896自治体は少子化と人口減少が止まらず、存続が危ぶまれる「消滅可能都市」であると指摘されました。このような中、なぜ本市は人口が増える

続けているのでしょうか。

本市は全体が緩やかな平地で大きな川や海、急峻な山などがなく、災害が起こりにくい地形です。また、県内最大の都市である熊本市に隣接し、通勤・通学に便利であること、大型のショッピングセンターが近いことから、将来を見越して転入する人が増えているのではないかと考えられます。

また、合併当初は市の施策として「子育て支援日本一のまちづくり」をスローガンに掲げ、医療費の小学校6年生までの無料化など、子育てに焦点を当てたさまざまな取り組みを行ってきました。現在は、このスローガンをまちづくりの横断的な施策としてとらえ、市民の健康づくり、高齢化への対応、財政の健全化、学校や道路などのインフラ整備など、他の課題と関連付けて進めています。

市は、未来ある子どもたちへ、誰もが安心して暮らせる「健康都市こうし」を残せるよう取り組みを続けていきます。人の笑顔がふれる、魅力いっぱい合志市を引き継ぐため、一人一人にできることから始め、みんなで笑顔を増やしていきたいませんか。